

リスク評価マッピング

凡例： **高リスク領域**

| セクター | 電力ユーティリティ | | 炭素関連セクター | コーポレート与信 移行リスク対応状況 *3 低水準 ← → 高水準 *4 | プロジェクトファイナンス |
|------|------------|--------------|----------|--|--------------|
| | 発電 | 送配電・水道業等 | | | |
| *2 | 主力:石炭火力 | 高リスク領域 | 炭素関連セクター | 高水準 | 高 |
| | | 主力:石油/ガス火力 等 | | 中 | 中 |
| | 主力:再エネ・原子力 | 低 | 低 | | |
| 資源 | 石炭 | 一般炭 | 炭素関連セクター | 高水準 | 高 |
| | 原料炭 | 中 | | 中 | |
| | 石油・ガス | 低 | | 低 | |
| 鉄鋼 | | 高 | | 高 | |
| セメント | | 高 | | 高 | |

エンゲージメントによる支援の方向

(縦軸)

より低リスクな領域への
事業構造転換を支援

(横軸)

お客様の移行リスク対応促進を支援

*1 炭素関連セクター: <みずほ>の定性評価により移行リスクが高いと認識したセクター

*2 セクター: 企業の事業構成において、売上/電源構成が最も高いものに依り分類

*3 移行リスク対応状況: 企業における移行リスクへの対応状況について、エンゲージメントを通じて確認。移行リスクへの対応意思、移行戦略の策定有無、定量目標の策定有無、目標の水準、達成手段・取組状況の具体性、実績・客観性 等を考慮

*4 対応状況 低水準: 移行リスクへの対応意思や有効な移行戦略が確認できない場合

【エンゲージメントを起点とした 脱炭素社会への移行の支援】

- <みずほ>は、エンゲージメント(建設的な対話)を起点としてお客様の課題・ニーズを深く理解し、ファイナンス・コンサルティング等多様なソリューションの提供を通じてお客様の移行戦略立案や推進を支援していきます。

【炭素関連セクターにおけるリスク評価】

- <みずほ>では、炭素関連セクター*1 におけるリスクコントロールとして、お客様の属するセクター*2、およびお客様の移行リスクへの対応状況の2軸でリスクを評価し、高リスク領域を特定しモニタリングする態勢を構築しています。
- 今般、移行リスクが高いと評価した 鉄鋼、セメントの2セクターをコントロール対象(炭素関連セクター)に追加しました。
- また、移行リスクへの対応状況については、エンゲージメントを通じて年に1回以上確認すること、ならびに以下の確認基準を「環境・社会に配慮した投融资の取組方針」に明示しました。
 - (確認基準)
 - 移行リスクへの対応意思、移行戦略の策定有無、定量目標の策定有無、目標の水準、達成手段・取組状況の具体性、実績・客観性 等
 - なお、移行リスクの対応状況に関する確認基準については、国際的な議論も踏まえつつ継続してアップデート、明確化に取り組んでいきます。

【高リスク領域への対応方針】

- 移行リスクへの有効な対応戦略の策定、または、より低リスクのセクターへの事業構造転換を促すべくお客様とのエンゲージメントに取り組みます。初回のエンゲージメントから1年を経過しても、移行リスクへの対応意思がなく、移行戦略も策定されない場合には、取引継続について慎重に判断を行います。
- これらを通じてリスクコントロールを強化し、中長期的に高リスク領域のExpを削減していきます。

【高リスク領域への信用エクスポージャー(速報値)】

- 2セクター追加後の高リスク領域への信用エクスポージャー(Exp) は、1.6兆円(2022/3末時点)と、昨年度の1.8兆円(2021/3末時点、電力ユーティリティ、石油・ガス、石炭のみ)から減少しています。